

# 西日本インカレ（合同研究会）2016 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

## 大学・学部・所属ゼミナール名（フリガナ）

フリガナ) オオサカケイザイダイガク	フリガナ) ショウホウシャカイガクブ	フリガナ) ナカムラケンジ
大阪経済大学	情報社会学部	中村健二ゼミナール

※大会申込書時に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入してください。

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数 （代表者含む）	パワーポイント内の 動画使用（有・無）
フリガナ) ケンジノホン	フリガナ) シミズヨシコ	4名	無
健二の変	清水美子		

## 研究テーマ（発表タイトル）

学生による大学での子ども預かりサービス「OKE」

※必ず<企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いいたします。

### 1. 研究概要（目的・狙いなど）

本提案では、親が子どもを気軽に預けることができることを目的としており、大学の社会貢献にチャレンジする。

### 2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

近年、女性の社会進出が進んでおり、子どもの保育需要が増加している状況である。現在の日本の女性就業率は、2015年平均で64.6%となり、約半数以上の女性が働いている。また、共働き世帯数も増加しており、2001年は951万世帯であったが、2015年には1,114万世帯にまで増加しており、夫婦で家計を支える状況となっている。さらに、育休制度を設けている会社は多くあるが、人手不足等により、会社の上司や同僚からの圧力を感じたり、マタニティ・ハラスメントを受けたりすることによって多大なストレスを感じている人が多い。保護者は、自分の時間が作れず、家の片づけもできず、その上、睡眠不足により精神・体力ともに疲れ、育児ノイローゼになることがある。女性の社会進出を推進する子ども・子育て支援新制度が施行されてから（2015年度）の保育所等申込者数は約247万人に上り、2014年度と比較して各地で50%以上増加している。厚生労働省認可の保育園が不足しており、幼稚園にも延長保育はあるが、時間が短いため親のニーズに合っていないと言える。女性の社会進出が進行するにつれ、保護者は、仕事と家事・育児の両立、保育園不足といった問題に悩まされている。この現状への対策として、地域型保育事業（東京スマート保育やおうち保育園など）や、託児所・学童といったサービスがある。しかし、これら既存サービスには依然として、研究テーマの課題項目に示す4つの課題へは対応できていない。また、企業内・院内保育といったサービスもあるが、満員電車の中子どもを連れて行く必要があることや、出迎えサービスがないため、出先などで子どもにトラブルが生じた際に対応できないという課題がある。

### 3. 研究テーマの課題

・施設場所が都会に集中している。

- ・サービスの価格が非常に高い。
- ・地域型保育事業は対象年齢幅が狭い。
- ・一時預かりだけに特化している。

#### 4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

- ・大学の数は比較的に多く、空き教室があるので、施設の流用が可能。
- ・本サービスは、既存サービスの相場の半額を目標とする。
- ・本サービスでは 3 歳～小学 6 年生までを対象とし、また幼稚園閉園後から対応することで大学と幼稚園・小学校との連携により対象年齢幅が狭い点を解消できる。
- ・学部や部活動・サークルと連携することにより、習い事のようにいろいろと経験することができる。

#### 5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

提案者らが子ども預かりサービス実施場所として大学に着目した理由は、「設備」・「人材」・「周辺施設」が揃っているためである。まず、大学は保育をするために十分なスペースがある教室や監視カメラ等の機会、栄養のあるご飯の提供が可能である食堂といった設備が整っている。次に、人材として学部や部活動、サークルを通して、学生が得た知識を子どもに教えることが可能となる。例として、2020 年から小学校の必修科目に導入されるプログラミングの予習として、学生からパソコンの扱い方を習うことが可能であり、スポーツ系はダンスやサッカーなどの習い事が提供可能である。さらに、保育士と学生アルバイトを雇用者とし、両者が協力して子どもの面倒をみる。学生は 2 年間本サービスに携わることで、3 年目に放課後児童支援員という資格を取得することができる。就職活動に活かすことができる。周辺施設として、大学の周辺に保育施設や小学校が多く存在するものがある。幼稚園の終わり時間にバスがある保育施設から、帰宅の際、大学の前にバスが停まれるようにする。バスがない幼稚園や小学校には学生が徒歩でお迎えに行く。預かり時間は 14 時頃～21 時までとなっており、保護者は時間に左右されることなく仕事に集中することができる。安全面では、教室に設置してある監視カメラだけでなく、常に待機している保育士と学生の目視による監視、出入口付近に簡易安全柵を設置することでより安全性を高めている。空き教室を使うために同じ教室を使うとは限らない。またヒヤリハット（重大な事故に直結しかねない細かな事例）を記録し蓄積していくことで子どもの危険行動について知識を共有する。本サービスは、幼稚園や小学校が終わった後に預けることができる大学と幼稚園との連携による延長保育のようなシステムである。「O K E」サービスの流れを図 1 に示す。また、プランの優位性を評価するために SWOT 分析を実施した。SWOT 分析の結果を表 1 に示す。

図 1 「O K E」サービスの流れ

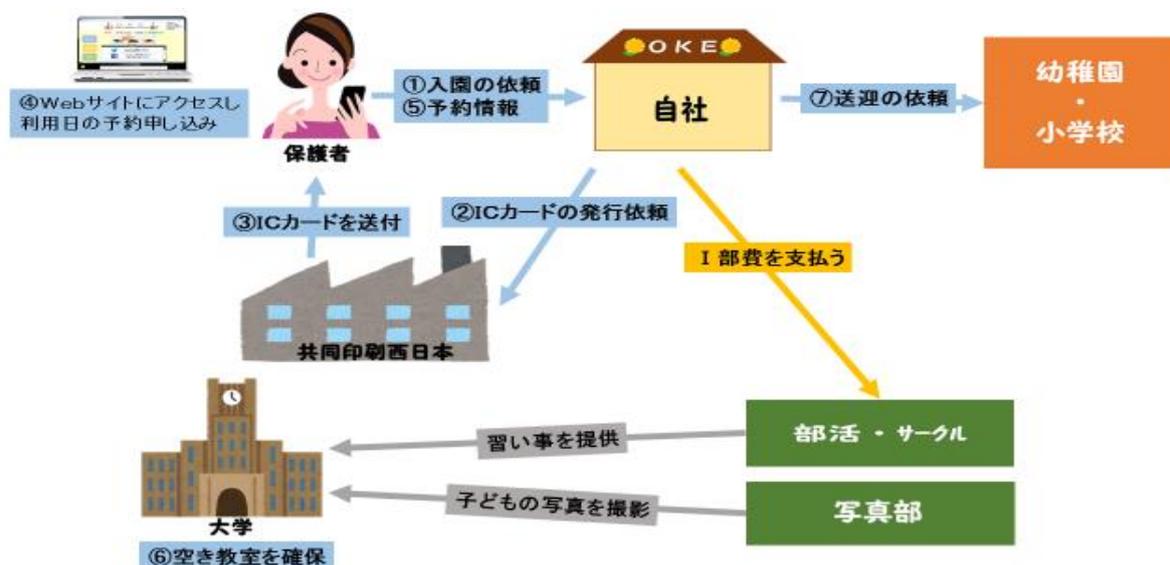


表 1 SWOT 分析の結果

	内部環境	外部環境
プラス要因	<b>強み</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>幼稚園・小学校と大学との連携(地域貢献)</li> <li>バスがない施設には学生がお迎えに行く</li> <li>学生が3年目に放課後児童支援員を取得できる</li> <li>既存のサービスと違いスペースの確保が容易</li> <li>Webサイトから保育の様子を見守り可能</li> <li>Webサイトからいつでも予約が可能</li> <li>学生による授業や部活による習い事がある</li> </ul>	<b>機会</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>女性活躍推進法の施行</li> <li>保育園の不足</li> <li>都市部での待機児童増加</li> <li>小学校でのプログラミングや英語の必修化</li> </ul>
マイナス要因	<b>弱み</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>大学の学科構造によっては受け入れが難しい</li> <li>地方での展開は難しい</li> <li>2世帯の家庭には利用してもらえない可能性がある</li> <li>万が一の事態に対するリスクがある</li> </ul>	<b>脅威</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>モンスターペアレントの増加</li> <li>託児所は24時間営業</li> <li>認可保育園の方が安全(保育士人数による)</li> <li>KTCは英語をメインに習い事が豊富</li> <li>りょうせい幼稚園はすでにWebサイトで行事のアルバム作成を実施している</li> </ul>

## 6. 結果や今後の取り組み

- ・既存保育サービスが抱える課題の発見、その解決策の思索。
- ・ビジネスプランコンテストへの申請書提出。
- ・認知度を広めていくため広報活動に力を入れる。
- ・アンケートやヒアリングを今後実施し、有用性を評価する。
- ・共同印刷西日本社とこのプランの共同研究を行っており、話を進めていく予定。

## 7. 参考文献

- 2016/8/4 総務省統計局 <http://www.stat.go.jp/>
- 2016/8/4 厚生労働省 <http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000135392.html>
- 2016/8/6 ガベージニュース <http://www.garbage news.net/archives/1954558.html>
- 2016/8/23 <http://hoiku-osaka.com/%e4%bf%9d%e8%82%b2%e6%96%99%e9%87%91/>
- 2016/9/16 京都市ホームページ <http://www.city.kyoto.lg.jp/kyoiku/>
- 2016/9/16 草津市ホームページ  
<http://www.city.kusatsu.shiga.jp/kosodate/hoikukyoiku/yochien/koshiyochien.html>
- 2016/9/16 大阪市ホームページ <http://www.city.osaka.lg.jp/kodomo/page/0000232895.html>
- 2016/9/25 吹田市ホームページ <http://suita-city.mamafre.jp/service/>
- 2016/9/25 西宮市ホームページ [http://www.nishi.or.jp/navi/ln\\_0008700514.html](http://www.nishi.or.jp/navi/ln_0008700514.html)

## 西日本インカレ事務局への連絡事項

**メンバーの一人が茶道部の部長を務めており、部活の行事と予選の日程が被ってしまったため予選に出場できません。**

### <企画シート作成上の注意>

- ※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。
- ※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1〜7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。
- ※本企画シートは、西日本インカレ事務局への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、3ページ以内に収めてください。事務局から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、3ページ目までを渡します。
- ※企画内容は、未発表の（過去に他誌・HPなどに発表されていない）ものに限ります。ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。
- ※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日経BP社・日経BPマーケティング社は一切の責任を負いません。
- ※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Webサイト上の資料を利用した場合は、URLとアクセスした日付を明記してください。
- ※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。
- ※その他、注意点については「企画シート・パワーポイントの作成および提出について」をご参照ください。